



総社市の先人を紹介する副読本を

加藤 保博

市長の政治姿勢について

問 本市の財政状況は極めて厳しく、多くの市民が心配している。財政健全化に向けての打開策をどう考えるか。

答 現時点で法人の市民税と固定資産税で約21億円の税収だ。このことから、企業誘致を最善策と考える。(市長)

問 市民が期待しているのは、市長の中央とのパイプと多く

ることなど改善が必要である。また、タクシー事業者から要望書が提出されている。共存共栄の立場から対応すべきと考えるがどうか。

答 市民も業者も喜ばれるものにするために知恵を出したい。(市長)

市長がめざす礼儀教育について

問 教育基本計画に沿って道徳教育をすすめている。また、

の人脈である。それが企業誘致に生かされているのか。

答 今期は私の人脈を通じ、トップセールスとして企業誘致に努めたい。(市長)

ふるさと学習について

問 教育現場で郷土の歴史、文化、ゆかりの人々についての授業は十分できているか。

答 総合的な学習の時間を中心に地域の学習をしているが、郷土全体を知る資料も少なく、

子ども条例で市長の思いは達成できる。屋上屋ではないか。教育に行政が介入することは地方教育行政法で禁止しているのは承知しているか。

答 教育委員会に指導命令したり、介入したりはしない。子ども条例と重なる部分はあるかもしれないが、屋上屋ではない。礼儀改革の組織の中で分離して、礼儀・礼節をやっている。(市長)



来年度に運行改善が予定される雪舟くん

十分とは言えない。(教育長)

問 郷土ゆかりの人々の足跡などを知ることが、郷土愛へつながり、また、道徳教育の一番身近な教材と考える。過去の出版物を学童向け副読本として再編集してはどうか。

答 教材として非常に適切と考えられるが、どれも合併前のものであり、山手・清音地区の記述はない。今後調査、検討したい。(教育長)

小西 義巳

一丁坵古墳群について

問 一丁坵古墳群の一号から四号及び六号墳の確認調査の結果について、並びに今後の発掘調査の考え方について聞きたい。

答 総社市及び岡山県においても非常に貴重な古墳であり、確認調査をもとに保存整備の基本的な考え方をまとめていきたい。当面、十三号墳まで



改修工事中の大谷池

塩見 禎章

法務局の公図(地籍図)に表示されている

公共財産について

問 道路(農道含む)、水路の、長期間、個人使用の場合の今後の対応はどうか。

答 使用を発見した場合、占用許可申請の指導と、さらに道路、水路として機能をしていないものを許可なく長期間占用した場合、発覚した時点

の概要について、調査をしていきたい。(教育長)

中学校の武道教育について

問 平成24年度から中学校で正規に武道教育が導入されるが、部外講師の活用を考えはないか。

答 地域の武道経験者との連携により、教員の技術指導の向上が図れる。指導の補助的な役割については可能である。

で精査し、隣接地権者等の承諾を得て、払い下げも実施していきたい。(以下市長)

岡山南部地区 国営かんがい排水事業について

問 三ツ溝の改修計画についてはどうか。

答 県営での実施計画であるが、今のところ実施予定はない。今後も県に要請していく。

問 国営事業が完成後の農地

武道館の畳替えについて

問 総社市武道館の畳は、平成元年竣工以来、一度も修理交換がされていない。現在、かなり傷んでいるので、修理交換の考えはないか。

答 20年以上経過していて、修理は困難な状況である。経費の面から、2〜3年かけて年次的に交換していきたい。(教育長)



設備更新が待たれる武道館

の規則についてはどうか。

答 平成26年度に完成予定であるが、完成後8年間、原則転用は認められない。その後も自由に変更はできない。

防災について

問 老朽ため池の改修は。

答 直ちに改修が必要であるため池は千箇所、さらに改修が必要なのは119箇所である。財政難の折、毎年2箇所のペースで改修したい。